



コダイラ KDL22Y ダンプセミトレーラ外観四面図

型式 KDL22Y  
シリアル番号 KDL22Y-0004

重心高 : 1.370 m  
主ブレーキ制動能力 : 159157 N  
駐車ブレーキ制動能力 : 102579 N  
エアタンク容量 : 108 L  
エア配管容量 : 3 L  
エアチャンバ容量 : 1.6 L  
方向指示器ワット数 : 50 W

小平産業株式会社  
技術部長 行之内 正晃 殿

北海道運輸局長

概要等説明書(試作車・組立車審査結果通知書)

【指示事項】

1. 本試作は、製造番号「KDL22Y-0001~0005」の5台限りとする。
2. 車台番号は、職権打刻を受けること。
3. 「道路運送車両の保安基準」の緩和を受けること。(車両総重量)
4. けん引車は、コンパネイゼル PKG-GK4XAB (第5輪荷重 9.5t) により検討した。

主要諸元比較表

(試作車・組立車)

項目	標準車	試作車・組立車	基準・限度	項目	標準車	試作車・組立車	基準・限度
車名		コダイヤ		乗車定員人		-	
型式		KDL22Y		最大積載量kg		19700	
自動車の種別	(けん引車)	普通		車両総重量kg	前前軸重	9340	( - kg)
用途		貨物			前後軸重	-	( - kg)
車体の形状		ダンプ・セミトレー			前後軸重	9490	≤10t ( - kg)
燃料の種類		-			前後軸重	9490	≤10t ( - kg)
原動機型式		-			計	28320	(緩和) ≤22t ( - kg)
最大全長(1)又は全長(2)(m)		-		最大安定傾斜角度°	左	* 42	一般 ≥35°
長さm		8,090 (6,920)	≤12m		右	* 42	その値 ≥40°
幅m		2,490	≤2.5m	タイヤサイズ	前前軸	-	-
高さm		3,495	≤3.9m		前後軸	-	-
軸距m		4,100+1,300			後前軸	11R22.5-	(10000 kg)
					後後軸	14PR	-
輪距m	前輪	-			後後軸	11R22.5-	(10000 kg)
	後輪	1,840		前輪荷重	-	≥14.30%	
室内又は荷台の内側の寸法	長さm	7,300		積重	-	≥1/2 (2,700 in)	
	幅m	2,200		荷台オフセットm	1,670		
	高さm	0,800		最小回転半径m	* 6.9	≤12m	
車両重量kg	前前軸重	2410					
	前後軸重	-					
	後前軸重	3110					
	後後軸重	3100					
計	8620						

車台重量・制重等の基準



隣接軸距	1.6m未満	1.9m以上	1.3m以上1.8m未満(1の車軸にかかる荷重が9.5t以下である場合)
隣接軸重	≤18t	kg ≤20t	18980 kg ≤19t

制動能力	能力強度等検討書	
	制動力 - N	60km/h 37.9m
車軸強度	σ <sub>H</sub> /σ	686 / 93.47 × 2.5 = 2.93 ≥1.6
	σ <sub>V</sub> /σ	490 / 93.47 × 2.5 = 2.09 ≥1.3
推進軸強度	σ <sub>H</sub> /σ	1520 / 350.31 × 2.5 = 1.73 ≥1.6
	σ <sub>V</sub> /σ	1370 / 350.31 × 2.5 = 1.58 ≥1.3
車体強度	σ <sub>H</sub> /σ	490 / 56.68 × 2.5 = 3.48 ≥1.6
	σ <sub>V</sub> /σ	325 / 56.68 × 2.5 = 2.29 ≥1.3
制動装置強度	σ <sub>H</sub> /σ	1100 / 389.32 = 2.82 ≥1.6
	σ <sub>V</sub> /σ	-

注1: (試作車・組立車) の欄には、該当するものを○で囲むこと。

注2: 能力検討値は、該当しないものは「」、省略したものは「×」を記入すること。

注3: 能力強度等検討書欄は、必要に応じて項目を追加・削除することができる。

注4: \*印は、コンパネイゼル PKG-GK4XAB 型トラックと連結時の計算を示す。

装置の概要

目的	本車両は、分割可能な積載物品(土砂)の安全輸送を計るため、荷台の容積を大きくした(あおり型、固縛を前提にしないもの)ダンプセミトレーラとして新たに製作されるものです。
車体及び車体	車枠はJ型(高さ510mm×幅125mm×厚さ16mm(フランジ)×9mm(ウェーブ))でクロスメンバーには、 $\square$ 形高張力鋼材を用いた梯子形フレームです。前部下面にキングピンを、後部に走行装置を取付けています。
原動機	
動力伝達装置	
走行装置	車軸は株式会社ソーシンのトレーラ用車軸キットを使用しています。高張力鋼で、中空角型断面チューブの両端にスピンドルを溶接した構造です。タイヤ、11R22.5-14PRを2軸複輪で使用しています。アンチコASF280型セミトレーラ(23国自審 第201号、新型自動車番号 新16745号、類別002)と同一です。
操縦装置	
制動装置	主制動装置は、空気圧内部拡張式リーディング・トレーリングとし、けん引車と連動して制動がかかります。又、走行中けん引車より分離した場合は、リレー・エマージェンシバルブの作動に依り、自動的に制動がかかり、トレーラを停止させる構造です。駐車制動装置は、スプリングブレーキとしています。制動力制御装置には、WABCO社製のABSを使用しています。アンチコASF280型セミトレーラ(23国自審 第201号、新型自動車番号 新16745号、類別002)と同一です。
緩衝装置	半円形重ね板ばねによる車軸懸架方式です。左右各2組のスプリングでメインフレーム後部に取付けられたスプリングブラケットを介して車体を支持しています。アンチコASF280型セミトレーラ(23国自審 第201号、新型自動車番号 新16745号、類別002)と同一です。
連結装置	JIS J形(φ50.8mm)キングピン(材質JIS G4103 SNCM630)を使用しキックアッププレートに溶接取付けされ、けん引車の第5輪と連結されます。アンチコASF280型セミトレーラ(23国自審 第201号、新型自動車番号 新16745号、類別002)と同一です。
燃料装置	
電気装置	

注1: 該当する事項がない場合には、斜線を記入すること。

注2: 届出者は、自動車の点検及び整備に関する情報の提供並びにリコール届出に関する義務があります。なお、リコール届出に関しては、その実施について道路運送車両法(昭和26年6月1日法律第185号)に基づく勧告、命令を受ける場合があります。(第57条の2、第63条の2、第63条の3関係)